

新潟民商

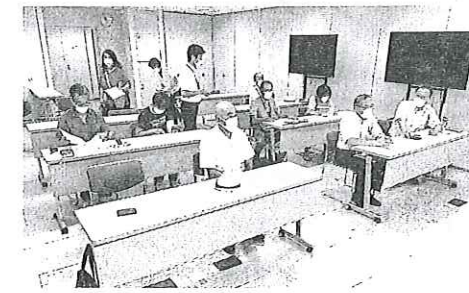
新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
22年9月26日

国や県任せではなく新潟市独自の減免制度の拡充を求める

使いやすい減免制度を求めて 保険年金・介護保険課と交渉

新潟民商も参加する国保をよくする会は15日、使いやすい減免制度への制度拡充を求めて保険年金・介護保険各課と交渉を行ない、民商からは渡部睦夫副会長が参加しました。

会議の冒頭、よくする会の星事務局長が「感染症は落ち着いてきているが、まだまだ市民の生活は厳しい状況。しかし減免制度がなかなか活用されていない。市の支援を強めることを要望したい」と挨拶。続けて新潟市から要望への回答が行われました。



市の回答は「市民の大変な現状は理解している」と話す一方で、「国や県の制度を踏襲している」「国の財政支援が無い支援はできない」と一貫して独自に制度拡充はしないという姿勢です。この姿勢に参加者からは「所得0以下が減免にならない不公平の是正を」「給付金が減免計算の場合に計算から外される理由を示せ」「他の支援が無くなる中で残る数少ない制度。臨時交付金を活用して制度拡充を」などの意見が矢継ぎ早に出されました。

渡部副会長は「国言いなりの姿勢は市長の姿勢そのもの。市長が変わらないと何も変わらない」と怒りを込めて話しています。

新潟民主商工会 青年部主催・婦人部共催



10/2(日)11:00~

阿賀野川ふれあい公園

(北区蒲川側)

大人 1人 1,500円
小人 1人 500円(小学生)

6歳以下は無料です

応募〆切:9/29(水)まで

まだ間に合います
参加お待ちしております

日程

- ・ 建築業者交流会 9月27日
- ・ 青年部主催BBQ 10月2日
- ・ 第3回常任理事会 10月3日

「ありとあらゆる制度を活用しても厳しい」 交流しながら相談会―中央・西ブロック―

中央区・江南区・西区を対象に16日、相談会を開催し会外2名を含む7名が参加。野上会長と松本副会長を中心に対応しました。

会外2名の方は偶然にも代行の仕事を辞めた方。感染症禍で勤務時間を削られ退職に至ったとのこと。緊急小口資金の申請書を完成させました。また緊急小口の対象にならない方は、守る会へ相談することになりました。

駅前でスナックを10年以上営業している会員は、国保減免は毎年、緊急小口・総合支援・生活困窮者自立支援金とありとあらゆる申請をしてきました。「それでも厳しい。店を閉めようか悩んでいる」との悲痛な声が出され、融資を受ける準備をすることにしました。とにかくまだまだ厳しい状況。ありとあらゆる制度を活用して商売とくらしを守りましょう。

「緊急小口資金で何とか商売を続けたい」 様々な相談者が訪れる―北東ブロック―

16日に北東ブロックの相談会を東区プラザ講座室で開催し、3名が相談に訪れました。相談内容は、国保・介護保険の減免申請と緊急小口と総合支援金の申請、給与ソフトの使い方と多種多様でした。



北区の建築業者は緊急小口に挑戦。「大変な状況だが何とか借入して商売を続けたい」と話します。今後は総合支援資金にも挑戦する予定です。また東区の飲食業者は国保・介保の減免に挑戦。「全くお客が戻らない中、減免があつて良かった」と話していました。

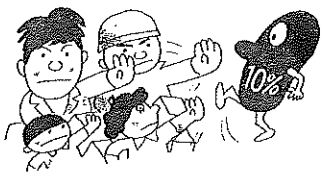
緊急小口と総合支援金の申請は9月末が締め切りなので相談はお早めに。また相談会は継続開催しますので、相談ごとはみんなの知恵で解決していきましょう。



山支部 「元請からインボイスの問い合わせ」 インボイス制度学習会を開催

9月8日、石山支部でインボイス制度学習会が開催され3名が参加。今回の参加者は以前に参加した事がある方達だったので、なぜインボイスが必要になるのか、どのような業者からインボイスを求められるのか、消費税の計算の仕組みについて復習。インボイス発行のために課税業者になる場合（簡易課税を選択）とインボイスを発行せず消費税分値引きに応じる場合ではどちらの方が、損が少ないかをみんなで試算しました。

比較的税額を軽減できる「簡易課税」も廃止が狙われる可能性があることについても説明すると参加者から「国は徴税することしか考えていない」と怒りの声。また、参加者からは「元請からインボイスの取得について文章が届いた。自社も外注にインボイスについて聞いておかないといけない」などの話が出され、着々と準備がすすめられている様子が感じられました。



今回はインボイス制度の他に、同時に進められている「電子帳簿保存法」についても簡単に学習。税務調査を円滑に進められる制度で、これも徴税強化のための制度であることに参加者は憤りを感じていました。

山支部 「パソコンのスキルアップをしたい」 支部パソコン学習会を開催

米山支部では毎月恒例となっている座談会。前回の座談会では「パソコンのスキルを学びたい」との声が出されました。その声をうけて山口支部長と事務局員で会員を訪問。パソコン学習会を知らせて参加者を募り、今月16日に学習会を行いました。

学習会ではエクセルでの基本的な操作に加え、表計算を使って独自の請求書の作成や関数を使ったの給与明細を作成。またワードを使ってのチラシの作成などに取り組み、パソコンの利用価値を確認していました。

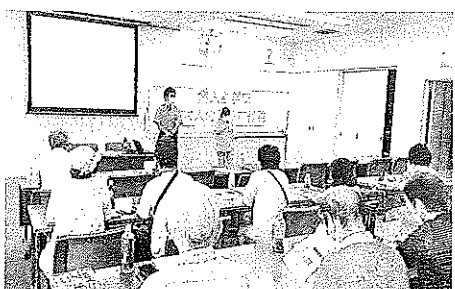


山口支部長と支部役員の岡崎さんは「この便利さを周りの会員にも伝えて行こう」と、今後の座談会や学習会につなげるための訪問行動にも話がおよびました。会員拡大にも期待です！

婦人部 スマホの操作の基礎から学び合う 新潟県婦協「大人のスマホ講座」

9月18日に新潟テルサで県婦協主催の「大人のスマホ教室」が開催され、県内各民商から34名が参加（新潟からは16名）。講師にさとうICTサポートのさとう智明さんを迎えて行われました。

最初にさとうさんがスマートフォンの画面上的操作やアプリの使い方など基本的なことを中心に説明。その後の質問では、参加者からQRコードを読み込ませる方法や決済アプリについての疑問が次々と出されていました。



さとうさんは「わからないことに気づくことが大事。気づいたらすぐ解決する。この教室をきっかけにスマホのことを良く知ってほしい」と話していました。終了時間が過ぎるほど多くの質問がだされるなど大盛況なスマホ講座となりました。

青年部 全国の業者青年に刺激をもらおう 全国業者青年交流会にリモート参加

9月18・19日に大阪にて全国業者青年交流会が開催され、5名が民商会館でリモート参加しました。

1日目は京都大学・藤井聡教授が「消費税減税が日本経済を復活させる」をテーマに記念講演。長期化する日本経済の低迷、コロナ禍や原材料費が高騰する中、日本経済を復活させるカギは消費税減税であることを明言していました。続けて「仲間・地域のつながりで商売伸ばす業者青年の挑戦」をテーマにパネルディスカッション。和歌山大学・足立基浩教授がコーディネーターを務め、商売人の魅力や地域とのかかわり方、中小企業の可能性を2名の青年業者と語り合いました。



2日目は分科会。「SNSマーケティング」と「補助金・助成金活用」に参加し、SNSマーケティングではマーケティングの基本とSNSの活用の仕方と継続について話されました。補助金・助成金活用では事業計画書の作成ポイントなどの説明の他、グループに分かれてトークが行われるなどの交流がありました。